

授 業 計 画

科目名 <p style="text-align: center;">『診療報酬請求事務』 前期</p>		講師名 <p style="text-align: center;">山口 伸雄</p>
		実務経験 有
対象学科名 医療秘書学科 2 年	授業の方法 講義	<p style="text-align: center;">< 講 義 日 ></p> 火曜日 3 限目 木曜日 2 限目・3 限目 <p style="text-align: center;">< 時 間 数 ></p> <p style="text-align: center;">4 5 時間</p>
<p>[授業の内容] (学習全体の内容) *授業の全体像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院料の基本的な算定を学習し、各診療行為との関連を把握する。 ・点数算定の理解を深め、医療秘書検定 2 級の合格を目指す。 ・学科 (文章) 問題のポイントを把握し、各検定試験に役立てる。 		
<p>[到達目標] (どこまでのレベルまでを目標としているか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療報酬請求事務認定試験 (日本医療保険事務協会) ・医療秘書技能検定試験 2 級 (医療秘書教育全国協議会主催) ・医事コンピュータ検定試験 3 級 (医療秘書教育全国協議会主催) 		
<p>[検 証] (学生の理解度を確認する方法) 例) 小テストの実施など。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点数表を理解するための課題プリント ・小テスト 		
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医科診療報酬点数表 	<p>[成績評価の方法・基準]</p> <p style="text-align: center;">『評価 = (素点 × 0.7) + 平常点 (30 点)』</p> <p style="text-align: right;">平常点は課題プリントを評価</p> <p>*評価基準は評価記入用紙による。</p>	

回数	授 業 内 容
1	入院基本料の算定
2	入院基本料の加算と入院時食事療養の算定
3	入院料のレセプト記載練習
4	手術料通則の理解
5	手術料の特例算定
6	手術料のレセプト記載練習
7	麻酔料の基本算定
8	全身麻酔の算定①時間の加算
9	全身麻酔の算定②麻酔困難
10	全身麻酔の算定③伏臥位・腹腔鏡下等の麻酔 麻酔の加算
11	麻酔料のレセプト記載練習
12	輸血料の算定
13	輸血料の加算
14	輸血料のレセプト記載練習
15	手術・麻酔・輸血の練習問題

回数	授 業 内 容
16	入院における投薬料の算定
17	投薬料のレセプト記載練習（調剤料含む）
18	入院における注射料の算定（通則説明含む）
19	注射料のレセプト記載練習（手術時の注意点含む）
20	入院における処置料の算定（手術時の注意点含む）
21	処置料のレセプト記載練習
22	入院における検査料の算定（手術時の算定上の注意点含む）
23	検査料のレセプト記載練習（算定日の記載例含む）
24	入院における造影剤使用撮影の算定
25	入院におけるCT・MRIの算定（減算・造影剤等の加算含む）
26	画像診断管理加算の算定とレントゲンの読影による加算の理解
27	画像診断料のレセプト記載練習
28	リハビリテーション料の算定上の注意と記載方法
29	リハビリテーション料の練習問題
30	リハビリテーションのレセプト記載練習

回数	授 業 内 容
31	入院症例：虫垂炎（主と従の関係含む）
32	入院症例：右乳線維腺腫（全身麻酔時の算定含む）
33	入院症例：胃ポリープ切除術（種類分け）
34	入院症例：食道狭窄と麻酔料の算定
35	入院症例：癒着性閉塞性イレウスと麻酔料の算定
36	入院症例：急性汎発性腹膜炎と麻酔料の算定
37	入院症例：突発性気胸と麻酔料の算定
38	入院症例：子宮筋腫と麻酔料の算定（加算等含む）
39	入院症例：骨折時の手術の算定（他、材料等の算定含む）
40	入院症例：心臓の手術等（全身麻酔算定含む）
41	入院症例：上行結腸憩室（他、腹部の手術時の主と従との関係含む）
42	入院症例：胃全摘術と他の手術の併用
43	入院症例：手術時の麻酔併用や加算について
44	退院時の算定（例、退院時リハビリ指導料等）
45	前期定期試験

授 業 計 画

科目名 『診療報酬請求事務』 後期		講師名 山口 伸雄
		実務経験 有
対象学科名 医療秘書学科 2 年	授業の方法 講義	< 講 義 日 > 火曜日 3限目 木曜日 2限目・3限目 < 時 間 数 > 45時間
[授業の内容] (学習全体の内容) *授業の全体像 ・主に入院症例の難易度のある手術内容について学習する。 ・点数表の理解を更に深め、上位の検定試験の合格を目指す。 ・疾患の病態と治療指針に基づく診療行為を把握し、その算定すべき項目を網羅することで疾患別による体系的な診療報酬請求事務の知識を学習する。		
[到達目標] (どこまでのレベルまでを目標としているか) ・医療秘書検定試験2級(医療秘書教育全国協議会主催) ・診療報酬請求事務認定試験(日本医療保険事務協会)		
[検 証] (学生の理解度を確認する方法) 例) 小テストの実施など。 ・点数表を理解するための課題プリント ・レポート課題		
[使用テキスト・参考文献] ・医科診療報酬点数表	[成績評価の方法・基準] 『評価 = (素点 × 0.7) + 平常点 (30点)』 (平常点は出席率と提出物) *評価基準は評価記入用紙による。	

回数	授 業 内 容
1	入院診療において必要な管理について 医学管理等（悪性腫瘍特異物質治療管理料）
2	入院診療において必要な管理について 医学管理等（特定薬剤治療管理料）
3	入院診療において必要な管理について 医学管理等（薬剤指導管理料）
4	入院診療において必要な管理について 医学管理等（手術前医学管理料）
5	入院診療において必要な管理について 医学管理等（手術後医学管理料）
6	入院診療の応用 処置（処置料及び通則の加算）
7	入院診療の応用 処置（医療機器等加算及び特定保険医療材料料）
8	入院診療の応用 手術（手術料及び通則の加算）
9	入院診療の応用 手術（医療機器等加算及び特定保険医療材料料）
10	各診療の内容における施設基準について①
11	各診療の内容における施設基準について②
12	診療報酬明細書記載の注意事項①
13	診療報酬明細書記載の注意事項②
14	各診療行為の略称についての復習①
15	各診療行為の略称についての復習②

回数	授 業 内 容
16	リハビリテーション算定の復習（明細書作成含む）
17	人工透析の算定と注意事項
18	入院分レセプト作成（内科系疾患）
19	入院分レセプト作成（外科系疾患）
20	入院分レセプト作成（整形外科系疾患）
21	入院分レセプト作成（婦人科系疾患）
22	入院分レセプト作成（眼科系疾患）
23	入院分レセプト作成（消化管系疾患）
24	外来症例：脂質異常症、尺骨骨折（200床以上の医療機関）
25	外来症例：気管支喘息、脳梗塞（200床以上の医療機関）
26	外来症例：臀部膿瘍、アトピー性皮膚炎（手術等含む）
27	外来症例：急性胃腸炎、急性肝炎（他院への紹介等含む）
28	外来症例：肩関節周囲炎、胆石症（生体検査等算定含む）
29	外来症例：慢性肝炎、狭心症（検体検査・生体検査算定含む）
30	外来症例：2型糖尿病、変形性膝関節症（対照撮影等の復習含む）

回数	授 業 内 容
31	入院症例：胆石症（CT や MRI 等造影剤等含む）
32	入院症例：胆管癌（手術含む）（造影剤使用時の算定復習含む）
33	入院症例：膵臓癌（手術や処置との関連含む）
34	入院症例：脳梗塞の内科的症例（CT や MRI 月 2 回目以降含む）
35	入院症例：胃癌の内科的症例（消化管の各手術含む）
36	入院症例：右白内障、糖尿病（在宅においての自己注射含む）
37	入院症例：下行結腸癌（病理診断含む）
38	入院症例：胃潰瘍穿孔（手術と麻酔の算定含む）
39	入院症例：腎結石、右腎不全（CT・MRI 算定含む）
40	入院症例：右腓骨骨折（プレート等材料算定含む）
41	入院症例：左膝内側側副靭帯断裂（手術と麻酔の算定含む）
42	入院症例：内視鏡下における手術と麻酔の関係
43	公費負担の算定についてと負担額について①結核予防法その他
44	公費負担の算定についてと負担額について②生活保護法その他
45	後期定期試験